

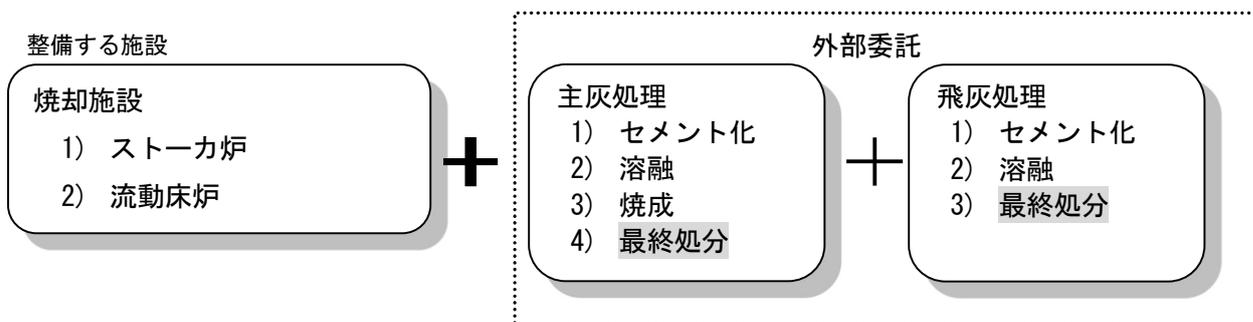
【参考】 ごみ処理方式と焼却残さ資源化方法の組合せ

現施設のごみ処理方式は、戸塚環境センター西棟が焼却方式（ストーカ炉）、朝日環境センター焼却棟が溶融方式（ガス化溶融炉）です。戸塚環境センター西棟からは、焼却残さとして、主灰、飛灰、鉄等が発生し、朝日環境センター焼却棟からは、溶融飛灰、鉄、アルミ等が発生します。

このうち戸塚環境センター西棟の主灰については、朝日環境センター焼却棟で溶融処理し、スラグとして資源化しています。このため、朝日環境センター焼却棟のごみ処理方式として焼却方式（ストーカ炉や流動床炉）を採用した場合、焼却残さの資源化又は最終処分を全量外部委託する必要があります。

ごみ処理方式と焼却残さの資源化方法との組合せイメージは次のとおりです。

<組み合わせ①> 焼却方式を選択する場合



<組み合わせ②> 溶融方式を選択する場合

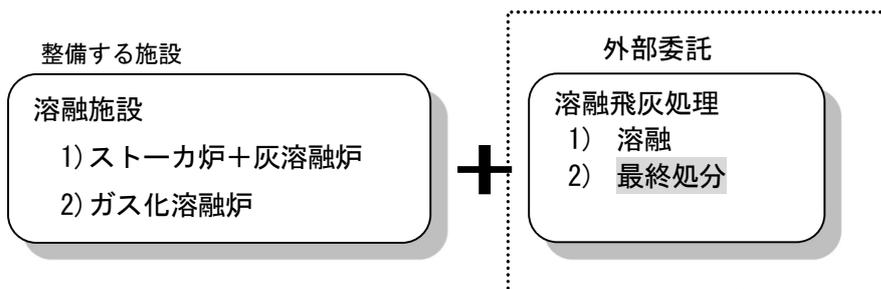


図 4 ごみ処理方式と資源化方式の組合せ（イメージ）